

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第14期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社エーアンドエーマテリアル

【英訳名】 A&A Material Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中村 勇二

【本店の所在の場所】 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号

【電話番号】 横浜045(503)5760(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 白井 直人

【最寄りの連絡場所】 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号

【電話番号】 横浜045(503)5760(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 白井 直人

【縦覧に供する場所】 株式会社エーアンドエーマテリアル関西支店
(大阪府大阪市北区太融寺町2番9号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第13期 第1四半期 連結累計期間	第14期 第1四半期 連結累計期間	第13期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	6,646	7,114	35,969
経常利益又は 経常損失() (百万円)	282	42	188
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失() (百万円)	296	1	581
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	333	58	468
純資産額 (百万円)	7,121	7,045	6,986
総資産額 (百万円)	44,251	43,831	43,853
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額() (円)	3.82	0.02	7.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)		-	-
自己資本比率 (%)	16.09	16.07	15.93

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、また、第13期第1四半期連結累計期間および第13期については、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動については、「第4[経理の状況]」に記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の政権交代後に実施された政府によるデフレ脱却や経済成長の促進を図る政策への期待感から円安や株高の状況が続き、輸出関連企業を中心として一部に収益改善の兆しが見られました。しかし、海外経済の減速懸念や円安による輸入品価格の上昇などの国内景気に対するリスク要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。また、設備投資につきましても、穏やかな持ち直しの動きが見られるものの、いまだに力強さに欠ける状況となっております。

当社グループの主な事業領域である建設・建材業界におきましては、震災復興関連需要はあるものの、同業他社との受注・価格競争および建設労働者不足による工期の遅れや労務費の高止まり等により、厳しい事業運営が続いております。

また、工業製品・エンジニアリング領域である造船業界におきましては、造船会社からの受注量減少により需要が低迷しております。

一方、電力およびプラント業界は、火力発電所の能力増強が引き続き実施される等、需要は堅調に推移し、鉄鋼業界におきましても、手控えられていた設備投資に底入れ感が出始めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は完成工事高2,176百万円を含み7,114百万円（前年同期比7.0%増収）、営業利益は85百万円（前年同期は226百万円の営業損失）、経常利益は42百万円（前年同期は282百万円の経常損失）、四半期純利益は1百万円（前年同期は296百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

建設・建材事業

材料販売につきましては、主力商品であります けい酸カルシウム板および高付加価値商品である化粧板の販売数量は増加いたしました。エフジーボードの販売数量は前年同期並みとなりました。一方、耐火二層管につきましては、マンション等の住宅工事全般に遅れが見られ、販売数量は減少いたしました。

材料販売全体の売上高は2,664百万円と、前年同期に比し2.4%の増収となりました。

工事につきましては、労務費の高止まりや資材価格の上昇に加え、受注競争の激化等の影響もありましたが、関西地区の大型プロジェクト工事の完成により、完成工事高は768百万円と、前年同期に比し6.5%の増収となりました。

以上の結果、材料販売および工事を合わせた建設・建材事業全体の売上高は3,436百万円と、前年同期に比し3.2%の増収となりました。

厳しい事業環境下ではございますが、7月には抗菌仕様でご好評をいただいている「ステンド 400」に木目調のラインナップを追加するとともに、耐火二層管の商品ラインナップの強化を図り、新商品・高付加価値商品の拡販に努めてまいります。

工業製品・エンジニアリング事業

材料販売につきましては、火力発電所向け非金属製伸縮継手の販売数量は前年同期に比べ増加し、高温処理材搬送ロールの販売も海外鉄鋼メーカー向けに堅調に推移いたしました。しかしながら、諸産業向けの保温保冷断熱材の販売は減少いたしました。

自動車関連につきましては、国内の軽四輪車向けブレーキライニングは、エコカー補助金の反動もあり減少いたしました。また、二輪車用ブレーキライニングは、インドネシアでの補給部品の受注等により増加いたしました。また、ガスケットおよびクラッチフェーシングなどの大型車向け製品につきましては、海外向けの販売は堅調に推移したものの、国内向け販売が低調だったことから、減少いたしました。

その結果、材料販売全体の売上高は2,265百万円と、前年同期に比し1.1%の増収となりました。

工事につきましては、大型工事の先送りは続いているものの、中小型工事やメンテナンス工事の受注に注力した結果、1,407百万円と前年同期に比し31.3%の増収となりました。

以上の結果、材料販売および工事を合わせた工業製品・エンジニアリング事業全体の売上高は3,672百万円と、前年同期に比し10.9%の増収となりました。

その他

不動産賃貸収入であります。売上高は5百万円と、前年同期に比し1.1%の増収となりました。

(当社グループの四半期業績の特性について)

当社グループは不燃建材の製造、販売と共に建設・建材関連工事および工業製品・エンジニアリング関連工事の設計、施工を主な事業としており、それら工事部門の売上高は全売上高のおおよそ4割を占めております。

わが国では、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、工事の検収が年度の節目である第2四半期および第4四半期に集中する傾向があり、中でも工事期間の長い工業製品・エンジニアリング関連工事においては第4四半期への集中が顕著であります。このため、当社グループの業績には季節的変動があります。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し43,831百万円となりました。これは未成工事支出金の増加1,214百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少128百万円、完成工事未収入金の減少1,152百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ80百万円減少し36,786百万円となりました。これは短期借入金の増加698百万円、未成工事受入金の増加945百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少447百万円、未払法人税等の減少89百万円、未払費用の減少114百万円、長期借入金の減少1,004百万円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し7,045百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加24百万円、為替換算調整勘定の増加32百万円等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、114百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい変動はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備に著しい変動はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	77,780,000	77,780,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であります。
計	77,780,000	77,780,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		77,780,000		3,889		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 147,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 77,346,000	77,346	
単元未満株式	普通株式 287,000		
発行済株式総数	77,780,000		
総株主の議決権		77,346	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式313株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社エーアンドエー マテリアル	横浜市鶴見区鶴見中央 二丁目5番5号	147,000		147,000	0.19
計		147,000		147,000	0.19

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,080	2,997
受取手形及び売掛金	2 7,689	2 7,561
完成工事未収入金	3,425	2,272
商品及び製品	2,981	3,161
仕掛品	178	205
原材料及び貯蔵品	535	534
未成工事支出金	3,431	4,645
その他	574	575
貸倒引当金	148	147
流動資産合計	21,747	21,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,637	1,641
機械装置及び運搬具(純額)	1,976	1,903
土地	16,542	16,542
その他(純額)	688	664
有形固定資産合計	20,844	20,752
無形固定資産		
のれん	249	239
その他	31	28
無形固定資産合計	280	268
投資その他の資産	1 980	1 1,005
固定資産合計	22,106	22,026
資産合計	43,853	43,831
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 5,730	2 5,282
短期借入金	11,595	12,294
未払法人税等	161	72
賞与引当金	194	160
引当金	106	92
未成工事受入金	1,805	2,751
その他	2,026	1,902
流動負債合計	21,620	22,555
固定負債		
長期借入金	7,365	6,361
再評価に係る繰延税金負債	3,654	3,654
退職給付引当金	2,947	3,010
その他	1,278	1,203
固定負債合計	15,245	14,230
負債合計	36,866	36,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,889	3,889
利益剰余金	2,360	2,362
自己株式	15	15
株主資本合計	6,233	6,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	164
繰延ヘッジ損益	3	2
土地再評価差額金	637	637
為替換算調整勘定	22	9
その他の包括利益累計額合計	752	809
少数株主持分	0	0
純資産合計	6,986	7,045
負債純資産合計	43,853	43,831

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,646	7,114
売上原価	5,114	5,318
売上総利益	1,531	1,796
販売費及び一般管理費	1,758	1,710
営業利益又は営業損失()	226	85
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	14	12
持分法による投資利益	24	-
為替差益	-	27
その他	17	22
営業外収益合計	63	67
営業外費用		
支払利息	104	98
持分法による投資損失	-	5
その他	15	5
営業外費用合計	119	110
経常利益又は経常損失()	282	42
特別損失		
固定資産除却損	2	0
減損損失	-	14
特別損失合計	2	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	284	26
法人税、住民税及び事業税	11	25
法人税等合計	11	25
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	296	1
少数株主利益	-	0
四半期純利益又は四半期純損失()	296	1

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	296	1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	24
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	-	32
持分法適用会社に対する持分相当額	5	-
その他の包括利益合計	37	57
四半期包括利益	333	58
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	58
少数株主に係る四半期包括利益	-	0

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 株式会社アスクエージェンシーは、当第1四半期連結会計期間において当社が吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
投資その他の資産	100百万円	99百万円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	300百万円	217百万円
支払手形	529百万円	371百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 減損損失

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当第1四半期連結累計期間において、以下の資産について減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	金額 (百万円)
大分県大分市	製造設備	機械装置等	14
		計	14

当社グループは、事業用資産については、事業所単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位でグルーピングを行っております。

遊休資産については、個々の資産単位をグループとしております。

当第1四半期連結累計期間において、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスの資産については、帳簿価額を当該資産の回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	254百万円	210百万円
のれんの償却額	- 百万円	9百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設・建材 事業	工業製品・ エンジニア リング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,328	3,312	6,640	5	6,646		6,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	0	17	5	22	22	
計	3,344	3,312	6,657	10	6,668	22	6,646
セグメント利益又は損失 ()	89	30	58	3	62	289	226

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸不動産事業を含んでおりません。
- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 289百万円には、セグメント間取引消去44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 333百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設・建材 事業	工業製品・ エンジニア リング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,436	3,672	7,108	5	7,114		7,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	0	18		18	18	
計	3,454	3,673	7,127	5	7,132	18	7,114
セグメント利益	249	130	379	3	383	297	85

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸不動産事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額 297百万円には、セグメント間取引消去40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 338百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業製品・エンジニアリング事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスの資産について帳簿価額を当該資産の回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において14百万円であります。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	3円82銭	0円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(百万円)	296	1
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(百万円)	296	1
普通株式の期中平均株式数(株)	77,636,428	77,632,236

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、また、前第1四半期連結累計期間については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社エーアンドエーマテリアル

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 一 宏 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 清水 芳 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エーアンドエーマテリアルの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エーアンドエーマテリアル及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。